

広報 らくじゅ

— 第 13 号 —



発行：社会福祉法人楽寿会

〒421-2115 静岡県静岡市葵区与左衛門新田74-6

TEL(054) 296-1111(代表) / FAX(054) 296-1113

URL <http://www.rakuju.or.jp>

楽寿の園高齢者総合福祉エリア

🌿 お茶の里美和！茶道の精神文化が楽寿に息づく 🌿



茶道裏千家淡交会静岡支部南青年部の皆さんからのおもてなし



淡交会南青年部によるお点前



肥田宗康先生とお茶道具を拝見



楽寿敬老茶会：心を伝える一服のお茶



肥田宗康先生によるご指導



お作法に基づき稽古でお茶を頂く

～「茶道」に学ぶ楽寿会の理念と実践～

楽寿会の「誓約」は、「私達は楽寿会の職員として高齢者への「尊厳」を理念とし、優しさの限りを尽くして、この場所を真の楽園とすることを誓います」としています。楽寿会ではこの「尊厳」を守るために必要なあらゆる専門性を駆使して、その目的のために切磋琢磨しています。専門性の3要素として「知識」「技術」「理念」があげられますが、特に「理念」は他者の尊厳を守るために必要な追求すべき「人間性」の構築を図るための基盤であり、極めて重要かつ厳粛な領域であります。介護技術の基本を大切に人を思いやる一期一会の心をもってコミュニケーションを図ることが出来る介護福祉人材の育成に、楽寿の園では様々な専門教育研修の他に、月に一回茶道裏千家による茶道教室を開催し、礼儀作法はじめ茶道の精神を学んでいます。

介護老人福祉施設 楽 寿 の 園

楽寿の園は、高齢者総合福祉エリアの基幹施設であり、アカデミックで診療所を併設した最新鋭の高機能・高規格特養です。楽寿の園では、高齢者への尊厳を理念とし、優しさの限りを尽くして、お一人おひとりの自己実現の為、個別の施設サービス計画に基づく最善の介護福祉サービスの提供に努めています。ご利用者の皆様にはゆったりとした癒しの空間で、心豊かな生活をお送りいただいています。高い専門性をもった介護、医療、福祉のスペシャリストがご利用者様の自立のお手伝いをいたします。安倍川のほとりの豊かな自然を眺めながら、和やかなひとときをお過ごしいただいています。



本館中央ホール



楽寿の園診療所に設置されているCT

食事について

楽寿の園の厨房では長期入所、ショートステイ、通所サービス、ケアハウスと合わせて一日当たり 800 食程の食事を作り、ご利用者へ提供しています。

1、原材料・調理法

原材料は、野菜や肉、魚など生鮮食品につきましては鮮度に特にこだわって使用しています。また、原産地を画面にて確認し、安全なものだけを使用しています。

調理法に真空調理を取り入れ、効率よく衛生管理も徹底し、安心安全な状態で美味しい食事が提供できるよう努力しています。

2、献立作成

おせち料理、お花見弁当など行事食の献立や毎月のお誕生日を祝うお寿司の献立、季節に応じた食材を使った献立等、ご入所者の方々の嗜好にも合わせたバラエティに富んだものを考えています。

月一回の選択メニュー食や年3回のバイキング食など食事を楽しみ喜んでいただけるよう工夫もしています。

3、食事形態

普通食を基本にキザミ食、極キザミ食、軟菜食、ミキサー食など個々の健康状態や嚥下、咀嚼能力、麻痺の有無などを考慮した切り方・ゆで方の工夫、むせやすい方にはトロミ剤を使用するなどきめ細やかな対応をしています。

また、嚥下食として一部ソフト食を導入し、ミキサー食のようなドロドロ状ではなく、ゲル化剤を使用してムースやババロアのような食感で、形があり、極キザミ食より誤嚥の危険が少ない食事形態のものを提供しています。安定したトロミもついており、安心して召し上がっていただいています。

糖尿病食や減塩食など医師の指示のもとに療養食も提供しています。

4、栄養ケアマネジメント

高齢者の日常的な営みである「食べること」の意義を尊重し、他職種協働で適切な栄養ケアを個別に提供しています。

ご本人様、ご家族様からの食に対する意向を伺い、管理栄養士が中心となり、栄養ケア計画の原案を作成し、多職種で定期的に見直すと共に、検討して実施しています。



十五夜献立（お月見蕎麦）



お誕生会の献立（ちらし寿司）

短期入所生活介護（ショートステイ）

ご自宅でお年寄りの介護にあたるご家族様の介護疲れ等のご負担を少しでも軽減して頂く為に、短期間入所していただき、ご家族様に代わって介護いたします。ご希望ご不明な点につきましては、どうぞお気軽に楽寿の園までお問い合わせください。

☆☆☆ご利用者のご家族様より、ショートステイ及びデイサービスをご利用いただいたの感想を頂戴いたしましたので、ご紹介させていただきます。

『ご家族様の声』（サービス利用で心にゆとり）

私の妻が楽寿の園にお世話になり始めたのは平成21年6月29日のデイサービスからでした。それまでは比較的元気で自分自身の身の周りの事は出来ていたのが、極度の貧血を患い、3ヶ月間の入院の結果、車椅子での生活と完全介護の状態となってしまうと、私一人ではどうすることもできず、ケアマネジャーの指導もあって平成22年12月から初めて訪問看護サービスと併用してショートステイを利用することといたしました。

ショートステイを毎月利用させて頂いているうちに入所の方とお友達になり毎月その方とお話することを楽しみにして出掛けております。

最近では入所時から行っていたリハビリ効果も大きく、これまでは寝たきり状態でしたが、リハビリのおかげで介助立ち上がりや立位保持も徐々に出来るようになってきました。これは介護する私にとっても負担が軽減して、とても喜ばしく思っております。ご指導くださるリハビリの先生には誠に感謝です。また、今年の8月からデイサービスも復帰しまして楽しんで通所しています。この頃では私も心にゆとりが持てるようになりリフレッシュしております。

楽寿の園の皆様には大変お世話をかけますが、出来る限り自宅介護と併用してまいりたいと存じますので、今後ともよろしくお願いいたします。



松永 博様

利用料金について

当施設の介護保険適用部分のサービスに際し、ご利用者様に負担して頂く利用料金は、国の制度に基づき原則として「基本料金の1割」、「当施設が定めた食費及び居住費」の負担額となっています。その他、特別な食事の提供に要する費用、理美容代、その他の日常生活において個別に必要とされるものの実費（日常生活費）は各自でご負担頂きます。例えば、要介護3の人が介護老人福祉施設楽寿の園に入所した場合、1ヶ月の自己負担の目安はおおよ次のとおりです。 ※この他に日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
1(生活保護受給者)	15,000	0	10,000	25,000
1(老齢福祉年金受給者)	27,216	0	10,000	37,216
2	27,216	10,000	12,000	49,216
3	27,216	10,000	20,000	57,216
4	27,216	10,000	42,000	79,216

※ 所得の低い方については、利用者負担段階により「負担限度額」が軽減されます。また更に、「社会福祉法人の減免」の対象者として認定されると、料金の一部を楽寿の園と市町村で負担しますので、どなたでも安心してご利用いただけます。

◎従来型個室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
1(生活保護受給者)	15,000	10,000	10,000	35,000
1(老齢福祉年金受給者)	25,584	10,000	10,000	45,584
2	25,584	13,000	12,000	50,584
3	25,584	25,000	20,000	70,584
4	25,584	35,000	42,000	102,584

※ 看取り介護加算（1日につき）160単位（施設・居宅で死亡した場合、死亡前30日を限度）看取り介護加算（1日につき）80単位（上記以外で死亡した場合、死亡前30日を限度）

◎ユニット型個室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
1(生活保護受給者)	15,000	25,000	10,000	50,000
1(老齢福祉年金受給者)	27,825	25,000	10,000	62,825
2	27,825	25,000	12,000	64,825
3	27,825	50,000	20,000	87,825
4	27,825	60,000	42,000	129,825

※ 看取り介護のために、居室移動をした場合は、移動後の居室の居住費を負担していただきます。

ケアハウス サンライフらくじゅ

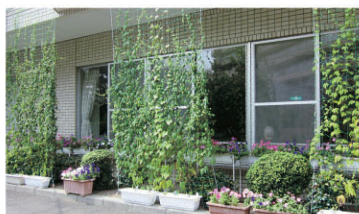
ケアハウス・サンライフらくじゅは、老人福祉法で規定された施設（軽費老人ホームA型）で、全国第1号として建設されました。

ケアハウスは、60歳以上の日々の生活に不安があって炊事ができない程度の健康状態の方が入居し、バリアフリーの住まいで、管理栄養士が献立した、それぞれの健康状態にあった①3食を提供し、又、②生活相談、③入浴の準備、④緊急急病時の対応、⑤ホームヘルプサービス等の居宅サービスの導入調整、⑥健康管理等の基本的なサービスの提供を行い、介護予防に向けた自立生活を支援するための住まいです。サンライフらくじゅは、楽寿の園高齢者総合福祉エリアの中に位置し、併設特養楽寿の園をはじめ楽寿の園診療所、介護老人保健施設楽寿、楽寿会が実施する様々な在宅福祉サービスと政策的に連携し、その価値を高めています。サンライフらくじゅは、全国第1号のモデル事業として建設されたので、利用料には一時金が無く、敷金(退所時に返金あり)として、単身者の部屋が30万円、夫婦部屋が50万円と日本一低廉な料金で、月々の平均利用料は、食費、家賃、光熱水費等合わせて平均約7～8万円程度となっています。



サンライフらくじゅでは、施設長、副施設長、生活相談員、介護支援専門員、主任訪問介護員、看護師、管理栄養士などが出席し、毎月「入居者との話し合い」や隔週「ケース検討会」を行い、更なるサービスの向上を図っています。また、音楽療法士による音楽教室、理学療法士による健康リハビリ体操、ケアハウス独自でも毎月企画するおやつ作りや買い物ツアー等のお楽しみなど、生活をより豊かにするための様々な取り組みが行われています。

◆よりよい生活をお支えます



ゴーヤで緑のカーテン。実ったゴーヤを数える毎日でした。



毎月のご入居者様との話し合い。専門職がそろって参加します。



ケース検討会。お一人おひとりを医療、食事、生活援助等で支えます。

◆防災訓練の様子



入居者による初期消火訓練。



職員による避難誘導訓練。



夜間避難訓練。

◆お楽しみ企画



衣料品店の出張販売で買い物を楽しまれる入居者の皆様。



4月に開通した新東名を利用して玉露の里へ。



みなさんで白玉のおしるこ作りを楽しみました。

介護老人保健施設 楽 寿

介護老人保健施設楽寿は、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、医師による健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、食事・入浴等の看護介護サービスなど、家庭での生活を可能にする為の各種サービスを提供します。楽寿の園高齢者総合福祉エリアの各施設、地域の行政、医療機関等との密接な連携により、お年寄りの状態に沿った適切な介護の調整を図ります。また、ご本人様やご家族様の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。



通所リハビリテーション

◆生き活きとした在宅生活が維持できるよう支援しています

通所リハビリテーション（定員 40 名）では、施設で送迎を行い、居宅で介護を必要とする方が出来るだけ能力に応じ自立した日常生活が営めるように、ご利用者一人ひとりの状態や目標に合わせたサービスを行います。理学療法士、作業療法士による個別リハビリテーションでは、ご利用者の身体機能に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、実施しています。

☆☆☆今回、通所リハビリテーションをご利用いただいているご利用者より感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。



平行棒を使い、歩行訓練を行っています。



夏祭りでは、皆さんと一緒に盆踊りで盛り上がりました。

『ご利用者の声』



金原さわ様

私は平成 16 年 6 月より通所リハビリを利用しています。現在はリハビリ職員による関節可動域訓練、上肢機能訓練等を受けています。私はできるだけ人の手にかからないように生活していきたいと思っていますので、自宅でも出来る範囲で家事を行うようにしています。また、毎朝欠かさずラジオ体操も行っています。こちらに来ると友人と話もでき、楽しく過ごしています。今後もリハビリに取り組み、楽しく通いたいと思います。



利用料金について

例えば… 要介護 3 の人が介護老人保健施設楽寿に入所した場合、1 ヶ月の自己負担の目安は国の制度に基づきおおよそ次のとおりです。 ※この他、日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
2	29,010	10,000	12,000	51,010
3	29,010	10,000	20,000	59,010
4	29,010	10,000	43,000	82,010

※ 介護保険自己負担分には、基本サービス料、夜勤職員配置加算、サービス提供体制加算、栄養マネジメント加算が含まれています。

※ 所得の低い方については、利用者負担段階に応じた「負担限度額」が定められており、居住費・食事の負担が軽減されます。

◎従来型個室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
2	26,640	15,000	12,000	53,640
3	26,640	40,000	20,000	86,640
4	26,640	50,000	43,000	119,640

※ 二人部屋、個室を希望される場合、室料をお支払い頂きます。

※ 短期集中リハビリ実施加算（1 日につき）240 単位（入所日から起算して 3 ヶ月以内）

楽寿の園 デイサービスセンター



ボランティアの講師に来て頂いて様々な教室を行っています。脳活性を目的に実施している陶芸教室は皆様に人気です。

定員 30 名のデイサービスセンターで、充実した機能訓練を毎日実施しています。

「個別機能訓練Ⅰ」では、常勤専従の機能訓練指導員（理学療法士、看護師）が生活意欲の増進、身体機能、体力の維持を目的に、スリングセラピーやボール運動、パワーリング等を使用した下肢筋力強化、脳活性などのグループ活動を主体的に選択して頂き実施しています。

「個別機能訓練Ⅱ」では、生活機能向上を目的に、ご利用者ごとの心身の状況を重視し、作業療法士が個別的にかかわり、共通の目的を持った小グループでの活動を実施させていただいております。

水墨画、生け花、陶芸、民謡、手芸、音楽療法などクラブ活動も充実しています。

ご利用者には、笑顔で楽しいひとときをお過ごしいただけるよう、これからもサービス内容を充実していきます。

第2 美和の家・第3 美和の家

第2 美和の家と第3 美和の家は少人数の認知症対応型デイサービスです。

第2 美和の家は定員 10 名で、主に活動的な方を対象としています。ご利用者同士の交流を大切に、「笑って帰って頂く」をモットーにお一人おひとりに合ったプログラムを提供しています。

第3 美和の家は定員 12 名で、機械浴（寝浴）のあるデイサービスです。寝たきりの方でも安心して入浴して頂き、また手足を伸ばして浴槽に浸かって頂くことで気分転換を図って頂けます。レクリエーションや機能訓練にも力を入れており、ご利用者の残存機能の維持回復を目指して日々取り組んでいます。

今後も安心して楽しく過ごして頂けるよう、スタッフ一同努めて参ります。



ボールを使ったレクリエーション。何時も活気に満ち溢れています。

グループホーム らくじゅの家

定員 6 名の「らくじゅの家」は、少人数ならではの温かい和やかな家庭的雰囲気の特長としています。ご利用者様がご家庭で生活されていた時と同じように、ご家族、ご友人、地域との交流を持ち、それぞれの力に応じた役割や、趣味を活かした余暇を楽しみながら共同生活を送ることが出来るように支援しています。

食事の支度、洗濯物の片付けなど日々の家事や、季節毎に行う梅干しや味噌などの保存食作りと、職員と共にご利用者の力を発揮して頂く場面が多くあります。また、音楽療法、音楽教室など歌に触れ合う時間、買い物やドライブ、地域行事への参加など、穏やかな生活の中にも楽しみや喜びが多くあります。

ご利用者の尊厳を守り、お一人おひとりが安心して笑顔で暮らせるよう努めています。



城北浄化センター内にある遊水池の花菖蒲を鑑賞しました。辺り一面咲いている花菖蒲を見て皆様とても喜ばれていました。

足久保ケアサポートセンター 楽寿

運動器機能向上事業（静岡市委託事業）

運動器機能向上事業は介護保険で要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に行われる事業です。

楽寿会ではこの事業を静岡市から委託を受け「足久保ケアサポートセンター楽寿」にて「自分らしく、いきいきと普段の生活を楽しんで頂く」ことを目的に開催して、今年で6年目を迎えました。毎回看護師による健康チェックを始めとし、「しぞ〜かでん伝体操」を中心に、「口腔体操」「指体操」「豆知識」の固定プログラムに加え、楽寿会独自のプログラムを『理学療法士』『作業療法士』『管理栄養士』『歯科衛生士』『音楽療法士』などの専門職が各々の専門性を活かした方法で展開し、皆様の心身の健康のサポートをしています。



私達が各々の専門性を生かしてご利用者の健康に少しでも役立ちたいと思います。

デイサービスセンター 足久保らくじゅの家

定員12名の地域密着型デイサービスとして、認知症で在宅介護を受けている方を対象に、食事、入浴、個別機能訓練等のサービスを提供します。

また、園庭の散歩、頭や体を使ったレクリエーション、施設の畑での野菜作り、収穫した野菜を使った季節感のあるおやつ作りを行い、皆様に楽しんで頂いています。その他にも様々なプログラムを用意して皆様をお待ちしています。

デイサービスセンター足久保らくじゅの家では“住み慣れた場所での安心した生活”をモットーに、ご利用者様お一人おひとりが笑顔に溢れ、いきいきとした毎日を送れるように努めています。



日当たりの良いデイルームでの健康体操。皆様真剣に取り組まれています。

グループホーム 足久保らくじゅの家

9名のご利用者が家庭的な雰囲気の中、ご家族や地域の方に支えられ、職員が常に寄り添い、生き活きとした楽しい共同生活を送られています。

食事の支度や洗濯物たたみ等日常のお手伝いはもちろん、梅干し作り、味噌作り、干し柿作り等の季節毎の活動、ドライブや買い物、外食、ぶどう狩り等の多くの外出機会があり、楽しみのある毎日です。

地域行事にも積極的に参加し、良好な交流を図ることで住み慣れた地域での普通の暮らしが提供出来るよう支援に努めております。



ぶどう狩りに出掛けました。たわわに実った大粒のぶどうを手にも思わず笑顔が溢れます。

静岡市葵区美和地域包括支援センター、静岡市葵区賤機地域包括支援センター

高齢者のみなさんが、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活出来るように、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えるために設けられました。『社会福祉士』『主任ケアマネジャー』『保健師または看護師』3職種がお互いに連携をとりながら、様々な相談に応じます。高齢者を支え、自分らしく生活するための権利を守るため、様々な相談に迅速に対応しておりますので、いつでもご相談ください。

地域包括支援センターの概要

	楽寿会担当圏域	連絡先
静岡市葵区美和地域包括支援センター	足久保、美和、安倍口、井宮、井宮北	〒421-2115 葵区与左衛門新田74-6 (楽寿の園高齢者総合福祉エリア内) TEL:054-296-1100 / FAX:054-296-9355 / E-mail:hokatsu_m@rakuju.or.jp
静岡市葵区賤機地域包括支援センター	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中、賤機南	〒421-0871 葵区昭府2丁目7-17 (静岡市北部保健福祉センター前) TEL:054-251-7772 / FAX:054-251-7773 / E-mail:hokatsu_s@rakuju.or.jp

□サービス提供時間：(月～金) 8:30～17:30、(土) 8:30～12:30 休日：日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)
※休日および夜間については電話で対応いたします。(24時間連絡可能な体制をとっています)

各センターの主な活動実績

◆静岡市葵区美和地域包括支援センター (受託法人：社会福祉法人楽寿会)

主な地域活動の実施状況	《園域ケア会議の開催》担当圏域の各地区の特性、ニーズ把握を目的に、地区の関係者と連携を図っています。 《高齢者及び一般住民に向けて交流会開催》足久保奥組地区の高齢者及び地域住民の方に、音楽療法に取り組んで頂いたり、介護予防の説明や包括支援センターの紹介を行います。(平成24年2月22日・口長島公民館/平成24年3月9日・敷地公民館) 《認知症相談の開催》臨床心理士を招き、認知症または認知症を疑われる方やそのご家族の相談を受け、心理検査を通し「認知症のレベル」をはかり、対応方法の助言や必要時には医療機関へ紹介を行っています。(平成18年より毎月実施)
その他の地域活動への参加状況	- 安倍口地区社会福祉推進協議会総会、足久保地区社会福祉推進協議会総会にてセンターの紹介、参加。 - 美和地区社会福祉推進協議会開催のふれあい活動に相談コーナーを開設(平成24年6月) - 美和地区老人会会長会議で包括支援センターの紹介(平成24年10月予定) - 北部地区、美和地区の民生委員児童委員協議会定例会出席(隔月) - 美すゞ会、松森町健康ひろば、秋山町にこにこ会、桜町さくら会、あべぐちサロン、ふれあいの会足久保、内宮サロン(毎月)、美川町(隔月)へ参加。足久保口長島健康交流会(平成23年9月)、敷地健康交流会(平成23年10月)、足久保団地健康交流会(平成23年12月)に参加。 - 下与老人会健康会定例会にて「認知症について」講演(平成23年11月) - あおい介護者交流会参加(平成24年12月予定) - グループホーム楽寿、足久保らくじゅの家運営推進会議出席(隔月) - 北部保健福祉センター健康まつり参加(平成24年7月) - 井宮北地区社会福祉協議会認知症サポーター養成講座出席(平成24年7月) - 北部保健福祉センター地域支援連携会議出席(平成24年9月)

◆静岡市葵区賤機地域包括支援センター (受託法人：社会福祉法人楽寿会)

主な地域活動の実施状況	《出張相談会の開催》鯉ヶ池老人福祉センターで出張相談を実施。地域包括支援センターの紹介や介護保険の相談、高齢者全般に開する相談を受けている。(年3回予定) 《過疎地域への個別訪問》奥仙保、口仙保地区へ戸別訪問し、安心連絡カードを配布して高齢者実態把握を行う。 《口坂本地区元気はつらつ講座の開催》地域包括支援センターの紹介や口腔ケア等についての介護予防講座を実施。(平成24年10月予定)
その他の地域活動への参加状況	- 賤機地区、安倍地区の民生委員児童委員協議会定例会出席(隔月) - 梅ヶ島地区老人会に出席し、地域包括支援センターの紹介(平成24年4月) - 賤機南地区社会福祉協議会総会出席(平成24年5月) - 北部保健福祉センター地域支援連携会議出席(平成23年9月) - 鯉ヶ池老人福祉センター介護予防講座で介護予防の啓発と地域包括支援センターの紹介を行う。(平成24年8月) - 園域内グループホーム運営推進会議に出席(平成24年9月) - 賤機北小学校5年生介護保険勉強会実施(平成24年9月) - 賤機中、賤機南、松野、大河内、玉川地区の健康交流会参加。 - こころの物忘れ外来連絡会参加

◆北部地域全体(美和、賤機地域)での活動

北部地域高齢者支援連絡会	北部地域における高齢者支援が円滑に実施出来るよう情報交換を行うとともに、定期的にサービス担当者会議を開催し、よりよい支援の実現を目指しています。支援がスムーズにいくように、圏域の医師や北部保健福祉センター、居宅介護支援事業所等と連携を図りながら行っています。(平成20年より隔月)
--------------	--



足久保奥組地区で交流会を開催し、音楽療法を通じて、音楽に触れながら身体を動かしたり、他者交流する場作りをしました。地域の高齢者や地域住民と顔の見える関係ができました。



来所された地域の方からの相談を受け、介護保険制度やサービスに関する説明を丁寧に行っています。

よりよいサービスを提供するために

研修

◆施設内職員研修

職員教育委員会が中心となり、毎週1回、施設内職員研修を実施しています。全職員を対象に外部研修の伝達研修及び各種専門分野の研修を行い、処遇の向上、職員の資質向上と施設機能の充実や向上に努めています。また、外部講師を招いて講演や研修も随時行い、成果をあげています。

◆資格取得支援プロジェクト

職員の専門職としての質の向上を図るために、一人でも多くの職員が資格を取得して、より質の高いサービスの提供に繋げることが出来るように支援しております。これまでに介護福祉士111名、介護支援専門員40名が合格し活躍しております。今年度も介護福祉士に20名、介護支援専門員に10名の職員が受験に挑戦いたします。一人でも多くの職員が合格できるように、毎月勉強会やチェックテスト、模擬試験、ロールプレイなどを開催し資格取得に向けて活動しております。

◆新入職員研修

楽寿会では毎年3月に新入職員に対し、いち早く優れた職員になるべく、様々な分野の専門スタッフ、外部から招いた大学教授・講師の方々による専門性の高い新入職員研修を実施しています。本年も下記の通り新入職員研修を実施し、この研修を基盤として、現在、楽寿会の各事業所で新入職員が活躍中です。



元静岡福祉大学教授で厚生労働省事業による「施設、事業所における高齢者虐待防止に関する調査研究事業」ワーキング委員会委員を務めた有馬良建理事長の講義「高齢者虐待防止法について」



静岡県立大学短期大学部歯科衛生士学科准教授 鈴木温子先生による講義「お年寄りの口腔ケアについて」

平成24年度楽寿会新入職員研修日程表

■は外部講師による研修

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
3月23日 (金)		日程説明等	「これからの老人福祉のあり方」 有馬良建理事長		昼食・休憩	概要説明 職員心得 福利厚生 就業規則 総務部長 成嶋	健康診断 レントゲン 血圧検査 心電図 検尿	「認知症老人への対応」 (臨床心理士) 星野良一先生	社会 保険 関係 会計課長 高桑	
3月26日 (月)	施設見学 神谷・兼坂	ロールプレイ 有馬良建理事長		昼食・休憩	「対人援助とコミュニケーション」 昭和大学 講師 大谷佳子先生			個人情報 倫理法令遵守 総務部長 成嶋	高齢者の リハビリ (理学療法士) 西家	
3月27日 (火)	カンファレンスと 事例検討 主任ヘルパー 土海	施設サービス 計画書の見方 (ケアマネジャー) 中西・澤井	園歌の 練習説明 (音楽療法士) 福地	食事介助	昼食・休憩	「栄養ケアマネジメント」 県立大学 食品栄養科学部教授 熊谷裕通先生		厨房 実務 (管理栄養士) 澤井	施設防災 防災委員長 増井	食事・介助
3月28日 (水)	居宅看護 支援センター 業務 (ケアマネジャー) 打木	安全運転 規定 老健事務長 池ヶ谷	「高齢者の口腔ケアについて」 県立大学短期大学部 歯科衛生士学科准教授 鈴木温子先生		食事介助	地域包括 支援センター (主任ケアマネジャー) 金森	「高齢者看護」 救急心得・血圧測定 緊急時対応 (看護師) 鈴木正子	看護実務 感染症予防 (看護師) 大田	食事・介助	
3月29日 (木)	介護職員が行う 医療行為 (看護師) 春田	介護実務 事故防止 (介護福祉士) 岡本拓洋・大畑	介護技術Ⅰ 移乗・シーツ交換 他 (介護福祉士) 岡本拓洋・大畑	食事介助	昼食・休憩	看護実務 ターミナルケア (看護師) 望月みち子	介護技術Ⅱ 入浴・排泄 (介護福祉士) 岡本拓洋・大畑	食事・介助		
3月30日 (金)	生活相談員業務 生活相談員 (社会福祉士) 神谷・大原	「インシデントレポートから 見たリスクマネジメント」 総統括責任者 (社会福祉士・精神保健福祉士) 有馬知良		食事介助	昼食・休憩	辞令交付式・職員会議 有馬良建理事長		各部署主任との 打ち合わせ (勤務・制服について)		食事・介助

充実した施設での生活

敬老週間行事

9月17日～23日の敬老週間においては、敬老式典、敬老茶会、喫茶らくじゅなど様々な行事で敬老のお祝いをしました。

楽寿会では、毎年9月に老人福祉法で定められている趣旨に則り、高齢者福祉についての関心と理解を深め、ご利用者に対しご自身の生活向上に努める意欲を促すための様々な敬老行事を開催しています。

日本は世界でも有数の長寿国であります。楽寿の園におきましても今年度、米寿の方が11名、100歳以上の方が12名いらっしゃいました。楽寿会敬老式典では、ご利用者や御家族様、地域の代表の方などにお集まり頂きまして敬老該当者の方を盛大にお祝いさせて頂きました。

のど自慢大会や喫茶らくじゅにも大勢のご利用者が参加され、普段の生活とは違った雰囲気を楽しんでいらっしゃいました。

今後とも、ご利用者の皆様の健康には十分留意し、毎日を健やかに過ごして頂けるよう励んで参りたいと思います。



敬老式典で祝辞を述べる有馬良建理事長。式典にはご利用者、ご家族様含め400名以上の方が参加して下さい、100歳以上の方、米寿の方のお祝いなどを行いました。



コミュニティーホール楽寿にて毎年恒例ののど自慢大会を開催しました。この日に向け練習してきた成果を発揮され、皆様とても素敵な歌声を聴かせて下さいました。



コミュニティーホール楽寿では毎年恒例の「喫茶らくじゅ」が開店します。ご利用者の皆様はあんみつや今川焼などを召し上がり、楽しく会話をされながら楽しんでいらっしゃいました。

慰問、行事

楽寿会では、年間を通じて様々な方々が慰問に訪れます。又、季節感を味わって頂く為、季節に応じた行事を開催しています。コミュニティーホール楽寿にて行う全体行事、フロアー毎に行う行事、様々なレクリエーションや外出を企画して、皆様に楽しんで頂いています。



清見瀧大学塾の方々には、独唱・合唱・ピアノ演奏を披露して頂きました。ご利用者の皆様は、美しい歌声を聴かれながら至福の時間を過ごされました。



大石道場の皆様より、元気いっぱいの空手の形を披露して頂きました。準備体操をご利用者の皆様も一緒にやり、心も体も温まりました。



8月にはコミュニティーホール楽寿で夏祭りを開催しました。盆踊りやヨーヨー、かき氷といった夏の風物詩を皆様に堪能していただきました。

静岡県主催
介護技術コンテスト最優秀賞受賞！

～ケアコン2012～



介護技術コンテストに出場した職員が有馬良建理事長に結果を報告しました



土海裕子さんが受賞した最優秀賞トロフィー



岡本拓洋さんによる発表



土海裕子さんによる発表



大畑めぐみさんによる発表



増野容子さんによる発表



山本みどりさんによる発表



楽寿会が全国に先駆けて平成8年に「心をかたち」をキャッチフレーズに行われた第1回処遇技術大会からの経験が輝く

～輝く楽寿会の伝統とたゆまない介護技術の研鑽～

楽寿会では16年前から、全国に先駆けて処遇技術大会を開催して参りました。この度、介護人材確保対策の一環として、静岡県が介護技術コンテストを企画・主催され、県内外からプロの介護専門職が介護技術を競い合いました。楽寿会からもこれまで取り組んできた処遇技術大会の経験を生かし、5名の精鋭職員が競技に出場し、その内土海裕子さんが見事最優秀賞を受賞され、出場した皆さんと共に有馬良建理事長に報告を致しました。

楽寿会 職員紹介

楽寿会では高い専門性を持った介護、福祉のスペシャリストが一丸となって協働しています。ご利用者の皆様、ご家族の皆様に安心して施設を利用していただき心豊かな生活をお送りいただくため、専門スタッフが皆で連携を取りながら、より良いサービスの提供に努めています。その専門スタッフの中から、今回は4名の職員を紹介させていただきます。

	大原 恵 平成17年採用、特別養護老人ホーム楽寿の園 生活相談員（社会福祉士） ◆お話をじっくりと伺い、安心感を得ていただけるような対応に努めています。 楽寿会に勤めさせていただき、8年目になりました。ご利用者やご家族とお話をさせていただく際に私が心掛けている事は、まず、相手の話をじっくりと聞かがい、相手が何を伝えたいかを正確にとらえることです。その後、様々な選択肢の中から、その方にとって最善の方法と一緒に考えさせていただくようにしています。不安やお困りごとを抱えて来所される方が多くいらっしゃいますので、少しでも安心感を得ていただけるような対応に努めています。昨年一年間は育児休暇をいただき、今年復帰させていただきましたが、仕事と育児の両立が可能となっているのは、周囲の皆さんのおかげです。常に感謝の気持ちを忘れず、ご利用者やご家族にとって少しでもお力になれるよう、今後も努力して参ります。 
	山口 一美 平成23年採用、特別養護老人ホーム楽寿の園 生活相談員（社会福祉士、介護福祉士） ◆ご家族、ご利用者の思いに寄り添った援助が出来るように努めています。 私は昨年より生活相談員として勤務させていただいております。生活相談員の仕事を通して、ご利用者やご家族と関わらせていただく中で、毎日色々な気づきを得ることができ、日々多くのことを学ばせて頂いております。学生時代ではご利用者の身体面・精神面に対して援助を行う事を中心に考えてきましたが、生活相談員の仕事を通し、ご家族と関わらせて頂く中で、現状の大変さやご家族が抱えている思いを知り、ご利用者、ご家族の思いを受容しそれぞれに寄り添っていくことのできる援助を行いたいと感じております。まだまだ経験も浅く、勉強することも反省も多いですが、ご利用者やご家族との関わりを通して私自身とても元気を頂いており、ご利用者にとって施設での生活をより楽しく過ごしていただけるように、自分自身も成長していけるよう日々努力していきたいと思っております。 
	西家 辰也 平成13年採用、楽寿の園デイサービスセンター 管理者、機能訓練指導員(理学療法士) ◆個々の身体機能、精神機能に合ったサービスの提供を心がけています。 平成22年4月より、楽寿の園デイサービスセンターの管理者兼機能訓練指導員として、ご利用者の皆様の身体機能、精神機能の維持を目標にした機能訓練を実施させていただいております。機能訓練は、スリングセラピーやボール運動、下肢筋力強化、歩行訓練、バランス訓練、脳活性など、複数の訓練内容から、ご利用者に主体的に活動を選択していただくことで、生活意欲の増進を図ることも目的としています。また、膝痛予防体操や腰痛予防体操なども取り入れながら、今後もご利用者の個々に適したサービスを提供していきたいと思っております。要支援・要介護状態となられても、「出来ることは自分でしたい」「出来ることをもっと増やしたい」など、ご利用者お一人おひとりの在宅生活の手助けになれるよう、日々努めて参ります。 
	新村 孝子 平成18年採用、介護老人保健施設楽寿 3階フロアー長（看護師） ◆なじみの人間関係づくりに努め、症状の変化に合わせた介護サービスの提供に努めます。 私は急性期の医療機関に8年勤めてきました。急性期の治療を終えた患者さん達は、リハビリ施設や介護施設などへ移る方も多く、実際の介護の現場はどんなものであるのだろうと興味を抱き、介護老人保健施設へ就職し勤務させていただいております。私は現在、認知症ケア専門フロアに勤務しております。私が日々の業務で心掛けている事は、ご自分の体調不良を訴えられるご利用者はほとんどおりませんので、日頃よりご利用者の異変に早期に気づけるようななじみの人間関係づくりに努めています。また、認知症の症状は一人一人異なりますが、言葉を掛ける時も笑顔を絶やさず、自尊心を傷つけないよう言葉を選び受容・傾聴に努め共感的態度で関わるよう日々努めています。これからも、ご利用者が毎日を楽しく穏やかに生活でき、ご家族の方にとっても安心して日々の生活が送れるように今後もより良いケアが出来るよう努めて参ります。 

今後も皆で力を合わせ、より良い事業運営、サービスの質の向上を目指して参りたいと思っております。

ご利用（家族・介護者）の皆様へ

●ご入所希望の方

介護老人福祉施設 楽寿の園
介護老人保健施設 楽寿
ケアハウス サンライズらくじゅ

TEL : 054-296-1111
TEL : 054-296-1112
TEL : 054-296-1117

●在宅介護のご相談

地域包括支援センターへ

TEL : 054-296-1100 (美和)
TEL : 054-251-7772 (賤機)

●居宅サービスご利用の方

●ケアプラン作成希望の方

居宅介護支援センターへ

TEL : 054-296-5555